

2015年3月29日 福島県 二本松市

被災地としての風評被害もある福島県。その地での全日本大会に参加し、自分たちの目で見ることで、現地を元気にしていきましょう。

福島県での開催

あの震災からすでに4年。東北大震災の場合は、地震だけではなく津波や原発事故も重なって、現地の復旧はまだまだ多くの課題が残っています。しかも、放射能という目に見えない危険があるため風評被害も絶えない。

やはり、そこを元気にしていくのはそこに人が集い、現地が大丈夫なことを訴えていくしかありません。今回は、その意味では、福島で開くことに重要な意味があったと思います。

大阪から夜行バスでの参加

今回は、生徒2名を連れての参加。どんな手段で行こうか考えて夜行バスでの参加を選びました。

土曜の夜に大阪を出て、朝二本松に到着するもので、都合よくスタート時刻に間に合うものがあつたのでそれに乗車。往復で2万円強だったのですが、同じく大阪から参加したメンバーは、ピーチ航空の飛行機を利用。聞くとそちらの方が安かつたようで、飛行機で来て宿泊しても同じぐらいの値段だったようです。



3列シートのバス内



会場となった体育館内

バスでスタート位置まで

会場の体育館からは、バスでスタート位置までピストン移動をしていました。マイクロバスを数台使った移動だったのですが、一番最初に出発したバスの運転手は、選手を降ろす場所を把握していなかったようで、バスを転回させる位置まで乗せたまま行ってしまったそうです。以前、長崎でのリレー大会のときもバスの運転手が道を把握していなかったということに遭遇したのですが、こういう意味疎通は「わかっているはず」というのが一番怖いですね。今回も時間に余裕があつたからよかったです。



バスの降車場所

スタート直前に大慌て

天候も良く、気分よくスタートできそうだったのですが、ごそごそとうろつき回っている最中に持っていたEカードを落としてしまい大慌て。なんとか無事にスタートまでに落ちていたカードを発見できましたが、何をしているのやら(;;)



スタート地区の様子

トレインは良好

スタートすると、視界の開けた林が続き、トレインとしては申し分ない状態で、気持ちよく進むことができました。まあ、スピードが出ないのは自分の体力不足ですが、あまりミスもなく進むことができました。オーバーランするところが少しありますが、すぐに気づいて修正できたのも僕としてはまずまずでした。GPSロガーを持って走ったので、あとでカシミアールに落としてみたのですが、これで見ると順調に進んだように見えます。もっと拡大すると粗が見えるのでしょうね。

現地の物を買おう

フィニッシュは、会場の体育館の目の前。帰ってきてから朝に注文していた弁当を食べたり、豚汁を食べたり。

でもやっぱりこういう場所に来たら、その場所のものをかうようにしたほうがいいですよ。そういうことが、ほんの少しでも現地のためになることだと思います。以前は少しでも安く上げようと家から弁当やスーパーで色々買って来た物を昼食で食べたりとしましたが、最近は、会場で販売しているものを必ずかうようにしています。



フィニッシュ地区様子



成績速報掲示場所



フィットネスOの表彰



購入した弁当と豚汁



で出た汚染物を入れる袋を積んでいる場所が散在していました。途中の道もまだ通行が解除されていない場所もありました。



南相馬市に着くと、道路を1本隔てるだけで、まだ一切手が入られてなく更地になった場所が続いていました。



また津波の被害に遭った家屋がまだそのままの場所もありました。

同じ福島でも、津波をものにかぶった地区の復興は、全然だということを実感しました。

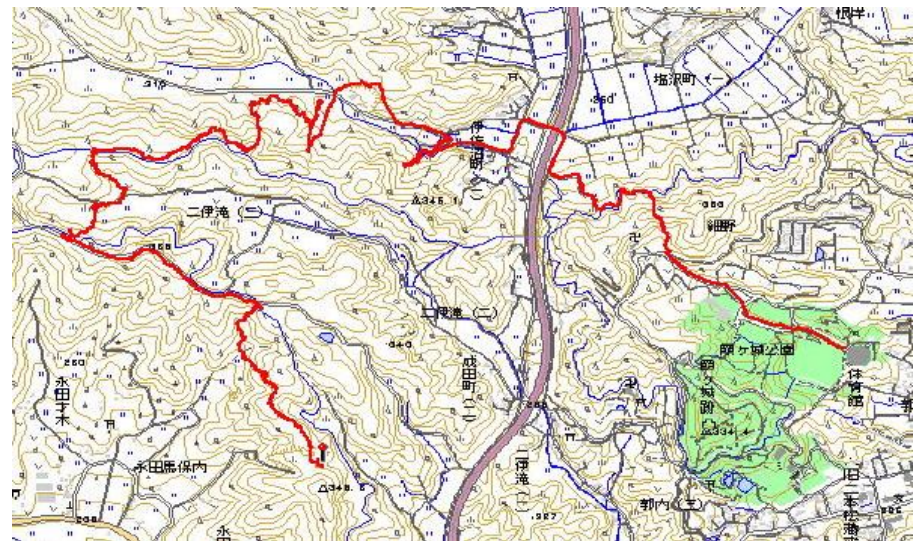
お風呂に入って帰阪

なんとか、福島駅まで戻ってきたのが19時頃。そこから福島駅近くのお風呂に入り、夕食を食べてまたも夜行バスで帰阪。

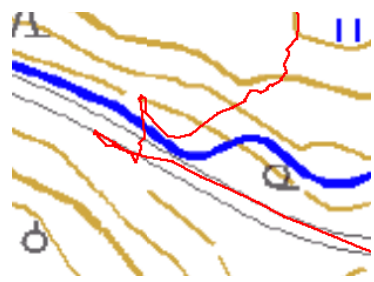


今回は、オリエンテーリング以外にもいろいろと考えさせられる旅となりました。

(横田実)



今回の僕の走ったM50Aの地図と走ったコースを地形図でトレースしたものです。この縮尺だと、細かいミスはわかりづらいですね。一番西の部分拡大したら下のような感じ。



オーバーランが分かってしまいます(;;)。

南相馬市に行きました

生徒たちも無事フィニッシュし、帰りの夜行バスまでの時間もかなりあったので、滞在予定に、不謹慎ながら急遽南相馬市まで行き被災の現状が残っている場所を見に行くことにしました。福島駅近くでレンタカーを借りて、片道2時間弱をかけて往復。



南相馬市に向かう途中にも除染作業